



図書館 だより

図書館 ☎69・3706

「おしえて!図書館」

Q 4月23日は何の日?

A 「サン・ジョルディーの日」

スペインのカタルーニャ地方の習慣で、この日、女性は男性に本を、男性は赤いバラを贈ります。

A 「世界図書・著作権デー」

読書・出版ならびに著作権保護の促進を目的として、1995年にユネスコ総会で採択されました。

ほかに、地ビールの日、消防車の日、ごろ合わせでシジミの日など。



今日は何の日
話のネタ 365日

PHP 研究所/編
PHP 研究所

1年365日、今日は何の日? 歴史エピソードや有名人の誕生日など。誰かに話したくなること間違いなし!

「子ども読書の日」

平成13年12月「子ども読書活動の推進に関する法律」が制定され、4月23日は「子ども読書の日」になりました。

子どもたちがいろいろな本と出会うきっかけをつくれるよう、図書館では毎年、いつもより趣向を凝らしたおはなし会を開いています。今年は、4月21日(日)に開催します。詳しくは催しのページをご覧ください。



昨年の「子ども読書の日」のおはなし会の様子

家族で、お友だちと一緒に! たくさんの方の参加をお待ちしています。

「連載8年目」

■連載秘話

「読む水族館」として始まったこの連載は、なんと8年目に入り、連載回数は80回を超えました。書き始めたころ私は20代前半で多感な青年だったので文章は整っておらず、提出した原稿は大幅に校正が入り、何度も担当の方に訂正してもらって最終的にでき上がったものは、もはや自分が書いたものとはかけ離れた立派な文章になっていることがあります。

■水族館の仕事

水族館の仕事というのは生き物の飼育という部分が大きいのです

当時は水族館の仕事自体も思うようにいかないことも多くあり、戦意喪失してわざと指定文字数の半分しか書かず提出したり、わざとすべてネコのことを書いて提出したりなどとして、あのころはすさんでいました。市役所の担当の方には毎回非常にご迷惑をおかけしました。今は大人になったので、まじめに清い心で書いていきます。締め切りは守りませんが。



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059

が、本当の仕事は水中の生き物のすごさや魅力を人に伝えることです。飼育というのはそのための手段の一つにすぎず、いくらうまく飼っていてもその生き物のことを多くの人に伝えられなければ水族館の意味はありません。そもそも水中生物の飼育はエサやりと定期的な水換えをまじめにやればできます。資格はいりません。現に近所のおじさんはこれを忠実に守って、賞をとるような立派な金魚や、殖えすぎて困るほどメダカをうまく飼育したりしています。

生物の情報を多くの人に楽しくわかりやすく伝えることこそが重要な仕事でさまざまな方法やテクニックを必要とします。その面からこの連載は水族館にとって大切なものですが、まちがいがしにくくイズの応募の際はぜひ水族館の記事に関する意見を書いて応募してみてください。なにか賞品が当たるかもしれないよ。もう読みたくなかったら、とか書く人はたぶん賞品は当たらないと思いますよ。

■今後も楽しい水族館

4月からは今まで通り速度を緩めずに、新しいことに挑戦していきます。水族たちの魅力を伝えていきます。他施設とのコラボ企画も積極的に取り入れており、この号のどこかにも共同企画の案内が出ていると思います。「マテ貝」という貝を採る経験をしたことがありますか。マテ貝を採って競い合うこのイベントは盛り上がりがあると思いますので、ぜひご参加ください。